

# 第 1 回協議会(5/13)議事等にかかる 御質問・回答、御意見 まとめ

令和4年7月8日

令和4年度 第2回 静岡市上下水道事業経営協議会

令和4年度 第1回上下水道事業経営協議会【当日の御質問への回答】

No.	議事	御質問	回答																								
1	3 議事 (2) 外部 評価対象の 決定	「受益者負担金過年度収納率」は、計画に対して実績はあがっているが、いまだに未収金は低いように思える。未収納金としてはどの程度の金額か教えていただきたい。(鈴木(学)委員)	<p>回答課 下水道総務課</p> <p>令和2年度及び令和3年度の受益者負担金の収入未済額は以下のとおりです。</p> <p>受益者負担金収入未済額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>収納率</th> <th>収入未済額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">令和2年度</td> <td>現年度分</td> <td>95.66%</td> <td>3,321,160円</td> </tr> <tr> <td>過年度繰越分</td> <td>12.89%</td> <td>22,650,788円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>25,971,948円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">令和3年度 (見込)</td> <td>現年度分</td> <td>95.56%</td> <td>1,959,590円</td> </tr> <tr> <td>過年度繰越分</td> <td>28.50%</td> <td>12,942,178円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>14,901,768円</td> </tr> </tbody> </table>	年度	区分	収納率	収入未済額	令和2年度	現年度分	95.66%	3,321,160円	過年度繰越分	12.89%	22,650,788円	合計		25,971,948円	令和3年度 (見込)	現年度分	95.56%	1,959,590円	過年度繰越分	28.50%	12,942,178円	合計		14,901,768円
年度	区分	収納率	収入未済額																								
令和2年度	現年度分	95.66%	3,321,160円																								
	過年度繰越分	12.89%	22,650,788円																								
	合計		25,971,948円																								
令和3年度 (見込)	現年度分	95.56%	1,959,590円																								
	過年度繰越分	28.50%	12,942,178円																								
	合計		14,901,768円																								
2	4 高橋雨水ポンプ場の再発防止の取組及び進行管理について	職員のペナルティーについて、どのようになっているか教えていただきたい。(馬居委員)	<p>回答課 下水道総務課・水道総務課</p> <p>現在、「高橋雨水ポンプ場整備における建築基準法違反に関する調査報告書」をとりまとめているところであり、併せて、職員の処分等についても検討しております。なお、公表に関しては「静岡市職員の懲戒処分等の公表に関する基準」に沿った対応をまいります。</p>																								

令和4年度 第1回上下水道事業経営協議会 御質問への回答

No.	議事	御質問	回答
1	3 議事 (1) 改善した取組 (令和2年度外部評価が「a」未満であった取組)	政策2 施策(1) ②水道管の更新(水道) 今後の取組として「令和3年度から実施の工事延長1km程度の大規模工事の件数を増やし」とあるが、狭小な地域の工事が目的の数字達成をおいかけの余りに見落とされる可能性はないのか。なお書きで中小規模の工事発注にも適正に対処されるとあるが、効率の上がらない、困難地域にも留意してほしい。(狩野委員)	回答課 水道管路課  工事延長1km程度の大規模工事の件数を増やすのは、事業量増に対応することで、「発注件数の抑制」と「発注の効率化」を図っていくという事です。 水道工事を受注している業者の規模も様々ありますので、大規模工事を優先するだけでなく中小規模の工事までバランスよく発注していく予定です。
2	4 高橋雨水ポンプ場の再発防止の取組及び進行管理について	資料10 P2の「議事録作成の徹底」の概要に「電話や口頭のやりとりであっても重要なものは議事録を作成」とあるが、「議事録」という文言は適当ではなく、「記録」ということではないか。 又、重要なものはとあるが、重要云々は誰がどのように判断するのか。慎重に対処願いたい。(狩野委員)	回答課 水道総務課・下水道建設課  「議事録」は、会議や打ち合わせなどで議論や決定された内容などを記録し、参加者や関係者などと共有することを目的としています。 今回の建築基準法違反が発生した要因の一つに、相談(口頭)の中で相手方の回答内容を誤って解釈した点がありました。そこで、参加者や関係者への共有を目的とした「議事録」の作成が、誤った解釈を未然に防ぐことにつながるため、「記録」を作成ではなく「議事録」を作成としています。 また、重要なものとは、「許可権者との法令の解釈や方針決定等」と定義しており、各事業の所管課において判断します。
3	令和4年度予算の概要・主な実施事業	資料11 冒頭の方針部分にデジタル化・脱炭素といった大きな社会変化への対応について、検討案と具体策を水道、下水道それぞれに列記してください。 なお、AIの活用、導入についても同様に教えてほしい。(狩野委員)	回答課 経営企画課・下水道計画課  資料11 上下水道共に「令和4年度の主な取り組み」の「4 新たなニーズへの対応」で、新規事業としてデジタル化・脱炭素に関する調査等を実施します。 ●デジタル化について 上下水道共同で、フロントオフィスの充実として、「次世代サービス導入計画の策定支援」を、バックオフィスの充実として「水道料金及び下水道使用料徴収システムの更新」を進めていきます。 水道事業では、バックオフィスの充実として、更に施設の連携効率化のための「管網解析システム」の導入。また、下水道事業では事務の効率化をはかるための「工事写真等既存書類の電子化」を推進します。 ●脱炭素について 水道事業では、施設の統廃合などによるエネルギー削減、設備更新に応じた省エネルギー機器の導入、太陽光・小水力発電等の再生可能エネルギーの活用など温室効果ガス削減につながる方策を「検討」とともに、脱炭素の実現に向け、削減量の年度目標の「検討」を始めます。 下水道事業では、下水道事業における温室効果ガス対策を推進していくため、創エネルギーに関して、太陽光など、下水道施設への導入可能性の調査・検討や設備更新に応じた省エネルギー機器の導入による温室効果ガスの削減効果の調査をおこない、具体的な取組みの「検討」を始めます。 ●なお、AIの活用については、現在上下水道共に新技術の動向や先進都市への聞き取りなど行っています。

## 2 上下水道事業経営協議会について

No.	御意見
1	12年間の基本計画をわかりやすく示してほしい。
2	特に意見は有りませんが、世界の不穏な情勢、コロナ禍であることなどを踏まえると、次期下水道料金改定については慎重に検討すべきと思っています。
3	協議会の時間的な制約もあるのでやむを得ないところではあるが、さらに多くの意見・質問（生の声）を各委員から寄せられればと思う。
4	「調査・審議すること」が条例で定められているということで、改めて大変な役割であることを認識しました。

## 3 議事（1）改善した取組（令和2年度外部評価が「a」未満であった取組）

No.	御意見
1	耐震化に期待します。
2	省エネルギー対策については、業務上どうしても必要となることもあるため、ある程度はやむを得ないと思われる。また地域貢献はC評価であるが、水道事業としての地域貢献のありかたについて見直しを行い、必要なものみに絞って実施すべきではないか。
3	真摯に着実に改善に取り組んでいる様子がうかがえました。ただし、コロナの影響で有効な手立てが打てない状況には歯がゆさも感じているように思えました。今後ウィズコロナに移行していった場合、大胆な改革が必要になるかもしれませんね。
4	社会情勢の影響を受けやすい事務事業は、改善成果が出にくく、評価も横ばいになっているものと思っています。

### 3 議事 (2)外部評価対象の決定

No.	御意見
1	異論ありません。
2	いつも見やすく整理されている資料で助かっていますが、今回の資料6の表は、罫線の欠けや太さが統一されていない部分がありましたので、次回に向けて見直していただければと思います。
3	外部評価対象の決定は、全体として適正だと思います。その上で、新たな取り組みを実施した 政策5 施策(3)の④適正な債権管理を評価対象にあげたことは正しいことと思います。
4	評価対象事業について了解です

#### 4 高橋雨水ポンプ場の再発防止の取組及び進行管理について

No.	御意見
1	法令遵守をお願いします。
2	再発防止に向けて、市としても水道局としても、職員の皆さんが危機感をもって対応されている様子が伝わってきました。今後予定されている2回の報告を見守らせていただきます。
3	これを契機に、全局的な再発防止策が講じられたことを評価します。本対策の評価は数年後になるかと思いますが、それまでの再発防止はもちろん、職員の異動があったとしても引き継がれていくことを期待します。
4	今後再発防止に向けた様々な取り組みを実施していくことは当然ですが、一番気になっているのは、皆で勘違いしていた、誤認していたという何とも表現しがたい無責任な雰囲気があったのではという事です。よほど気持ちを引き締めてかからないと再発防止は望めないかもしれません。
5	建築物扱いの構造物については、とにかく建築主事と仲良くして、なんでも相談を掛けることが大切なようです。窓口となる建築技術者を、上下水道局に配置されているとよかったかもしれません。
6	建築基準法違反は、担当者間の連絡不十分が見受けられた。職員による研修会の実施。
7	実際にどれだけの損失になったのかを、数字で検証する必要があると思います。費用、時間、何より市民の安全についてもしっかり振り返り、損失を実感できる資料の制作を希望します。

## 【資料配布】令和4年度予算の概要・主な実施事業

No.	御意見
1	緊張感を持って実施してほしいです。
2	最終年度の総仕上げの予算として、おおむね評価できると考えます。その上で気になっているのは、水道・下水道共に脱炭素化、デジタル化の推進に掛かる予算です。また、苦肉の策ともいべき有価証券の購入で新たな収入を生み出そうとすることも、少しい収入であっても大切なことだとは考えます。
3	一般会計からの繰入額の推移もグラフで見られるといいと思います。（毎年の予算総額が同じではないのではっきりした比較はできませんが。）

## その他ご意見・ご質問等

No.	御意見
1	日本は縦割り行政のマイナスに気付いていますが実践にどの程度改善されているのかと言うと怪しいものです。水道局は縦横無尽に繋がっていくことが職員さんの意気にも繋がるし経営自体もアップデートしていくものと思います。今年度の取り組みにも期待します。
2	リモートで参加させていただきましてありがとうございました。会場が広いせいかマイクの声が反響して聞き取りづらい時がありました。次回は会場にて参加させていただきます。
3	評価シートに記載されている説明文ですが、全体的に長いかなと感じます。（私の意見質問等もそうですが。）